

国語科学習指導案

授業者 守谷 健太郎

- 1 日時 平成 23 年 11 月 25 日（金） 2 校時
- 2 場所 4 年 2 組教室
- 3 学年 第 4 学年 2 組（児童数 33 名）
- 4 単元名 説明のしかたについて考えよう 「アップとルーズで伝える」
写真と文章で説明しよう 「仕事リーフレットを作ろう」

5 単元について

（1）単元観

本単元は、主として小学校学習指導要領「C 読むこと」「B 書くこと」の次の内容を受けて設定されている。

「C 読むこと」

（1）イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

「B 書くこと」

（1）ウ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。

本単元で付けたい力は、中心となる語や文をとらえ、段落が全体の中で果たしている役割に気を付けながら内容を読み取り、相手と目的に応じて情報を選択し、分かりやすく伝える力である。

教材文「アップとルーズで伝える」は、テレビや新聞などを通して私たちに届けられる映像や写真が、送り手の目的や意図によって取捨選択されたものであることを、二つの映像技法である「アップ」と「ルーズ」を用いて述べられた文章である。アップとルーズの定義やその長所と短所が、具体的な映像の写真と文章で分かりやすく述べられている。教科書には児童が目にすることが多いスポーツ映像の写真が事例として取り上げられているため、興味を持って読み進められる教材文である。

本教材の文章構成は、冒頭部では、テレビのアップとルーズの特徴を対比させて提示し、その違いを問いかけている。展開部では、その答えとして、アップとルーズの長所と短所を逆説の接続詞を使って対比的に説明し、違いを明らかにしている。その後、テレビの映像の類比として新聞の写真を取り上げることで情報に対する見方を広げ、終結部では、情報は送り手の一定の価値判断に基づいて取捨選択されていることを述べ、全体のまとめとしている。

記述の特徴としては、「アップとルーズでは、どんなちがいがあのでしょうか。」の問いの文に答えるように、アップとルーズの説明を「しかし、～」「でも、～」といった逆説の接続詞を使って長所と短所を対比的に提示している。そのため、アップとルーズそれぞれの特徴が捉えやすくなっている。また、段落と段落では、「～を見てみましょう。」「アップ（ルーズ）でとると、～がよく分かります。」など同じ文末表現が使われており、段落どうしが対比関係になっている。

教材文を読み取った後、「アップとルーズで伝える」の学習を踏まえ、「仕事リーフレットを作ろう」をつなげて指導する。自分が情報の発信者となり、集めた情報

の中から「自分が伝えたいこと」「読み手が知りたいこと」を考えながら情報を選択し、アップとルーズの写真と文章を関連させてリーフレットを書く活動を行う。

(2) 児童観

本学年の児童は、1学期に、事実と考えを読み分け、段落どうしの関係を考える学習を行ってきた。また、筆者の考えをもとに自分の経験をまとめるという学習活動を通して、文章の組み立て方の工夫ができるようになっている。

単元の目標に対する本学年の読む力の実態を把握するために、説明文「キョウリユウをさぐる」を用いてレディネステストを行った。結果は次の通りである。

(レディネステスト 対象児童数 126 名)

	内容	正答(%)
	問いの文を見つける。	67
	文章全体を三つのまとまりに分ける。	91
	キーワードをもとに、本文の内容を読み取る。	76
	本文の内容を読み取る。	45
	問いに対する答えが書いてある段落を見つける。	56
	筆者の書き方の工夫を見つける。	35

文章全体を冒頭部・展開部・終結部の三つのまとまりに分けることは概ねできる。しかし、設問 1 の問いの文と答えの段落を見つけることは6割程度しかできていない。設問 2 では、問いの文末表現には着目できているが、問いの文の一部にしか線を引いておらず、文の意味理解が不十分であると考えられる。設問 3 の誤答としては、一つの段落しか選んでいなかったり、まとめの段落も加えていたりするというものがあつた。これは、段落に書かれている内容や段落と段落のつながりが十分に捉えられていないためであると考えられる。設問 4 では、問われた内容を本文全体から読み取り、問いに対する答えを落とすことなく解答する力が不十分である。

設問 5 では、三つのまとまりで書かれていることやナンバリングをつけて書かれていることといった解答が多くあつた。誤答のうち無解答が13%あり、この要因として、文章を書く時にナンバリングなどの言語技術を使ったり、分かりやすく伝えるための書き方の工夫をしたりしようとするなどの意識が低いことが考えられる。

書く活動としては、1学期に総合的な学習の時間で学習したり調べたりしたことを新聞にまとめている。児童は自分が一番伝えたいことを絵やグラフを活用して新聞にまとめる学習に進んで取り組み、文字の大きさや見出しの内容を工夫することできるようになってきている。しかし、読み手により効果的に伝えるために文章表現の適切さを検討したり、文や絵の取捨選択をしたりするまでには至っておらず、相手意識を持って書こうとする児童は少ない。

(3) 指導観

指導に当たっては、「出会う」の場面で、府中市で働く人々の様子や仕事を、アップやルーズの写真を用いてリーフレットにまとめて発信していくという学習のゴールを示す。加えて、様々なリーフレットを教室に掲示し紹介することで、学習への意欲付けとリーフレット完成のイメージを持たせる。

教材文で筆者が伝えたいことは何かを読み取らせていくため、以下の方法で指導を行っていく。

写真を説明している文を見つけることで、写真と文を対応させる。その際、文

の意味理解を押さえる。

アップとルーズの特徴をとらえさせるために、本文のアップとルーズそれぞれの「分かること・分からないこと」に色を変えて線を引かせる。

文章の対比した書き方をとらえさせるために、文章を並べて掲示し、同じ書き方がしてある箇所を見つけさせる。

段落と段落のつながりをとらえて読む力を付けるために、各段落のキーワードから、小見出しを付けさせ、段落と段落の関係をとらえさせる。

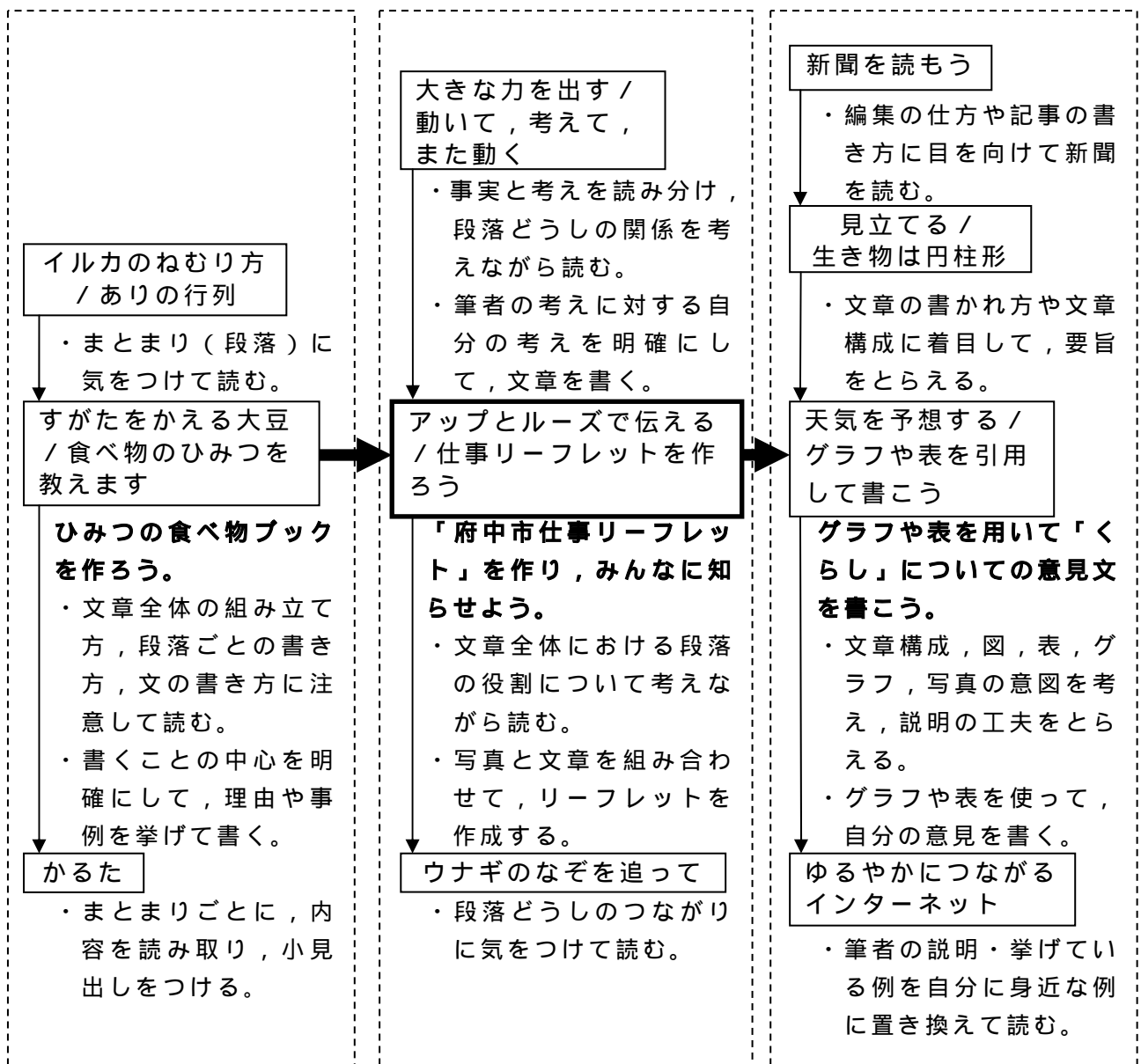
「仕事リーフレットを作ろう」では、府中市に住んでいない人に府中市のことを教えてあげようという相手意識を持たせて書かせていく。教科書の二つの例を表にして板書し比較させることで、読み手を意識した写真の選び方や写真と関連した文章の書き方の工夫を見つけさせる。見つけた工夫点は教材文で見つけた筆者の工夫した書き方と一緒に教室に掲示しておき、実際に児童が書く際の手立てとする。

6 単元・内容の関連

3 年

4 年

5 年



7 単元の見どころ

- 写真と文章を対応させて説明的な文章を読んだり，取材したことを写真と文章で分かりやすくまとめて書いたりする。（関・意・態）
書こうとすることの中心を明確にし，写真と文章を関連させながら書く。（書ウ）
写真と文章を対応させて，中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考えながら読む。（読イ）
- 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し，文章の中で正しく使う。（言イ（ク））

8 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
「府中仕事リーフレット」を作り，みんなに知らせよう。			
・写真と文章を対応させて説明的な文章を読んだり，取材したことを写真と文章で分かりやすくまとめて書いたりしようとしている。	・写真と文章を関連させながら，書こうとすることの中心を明確にして書いている。	・写真と文章を対応させて，中心となる語や文をとらえて読んでいる。 ・段落相互の関係を考えながら読んでいる。	・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し，文章の中で正しく使っている。

9 単元指導計画（全 18 時間）

次	到達目標 （活動目標）	時間	評価規準	評価の観点				評価の方法
				関・意・態	書く	読む	言語	
出会う	学習計画を立て，見通しを持つ。	1	単元全体の見通しをもち，進んで学習に取り組もうとしている。	○				ノート 発言
	リーフレット作りの計画を立てる。	1	リーフレットの特徴を調べ，リーフレット作りに関心をもっている。	○				ノート 発言
追究・表現する	全文を読み，文章の大体をとらえる。	1	中心語句や指示語，接続語などに着目して，文章の大体を読んでいる。			○		ノート
	「アップ」と「ルーズ」の意味を読み取る。	1	段落相互の関係を考えながら，「アップ」と「ルーズ」の意味を読み取っている。			○		ノート
	アップとルーズの長所と短所を読み取る。	1	接続語や対比的な書き方に気付き，アップとルーズの長所と短所を読み取っている。			○		ノート

	段落と段落との関係を読み取る。	1	段落相互の関係を考えながら内容を読み取り、段落の関係を捉えている。			○		ノート
	筆者の主張を読み取る。	1	アップとルーズが目的に応じて使い分けられていることを読み取っている。			○		ノート
	段落ごとに小見出しを付け、文章構成を考える。	1	段落に小見出しを付け、段落相互の関係を考えながら文章構成をつかんでいる。			○		ノート
	筆者の説明の仕方の工夫点を見つけ、整理する。	1	対比した書き方や写真と文を対応させる書き方など、筆者の説明の仕方の工夫点を見つけている。			○		ノート
	アップとルーズの使われ方から、その良さを理解する。	1 (本時)	アップとルーズの効果的な使われ方から、その良さを理解している。			○		ノート
生 か す	インタビューの取材メモを作る。	1	知らせたいことを決め、必要な材料は何かを考えて取材メモに書いている。			○		取材メモ
	教科書の例からリーフレットの書き方の工夫を見つける。	1	教科書の例から、リーフレットの書き方や写真の使われ方の工夫を見つけている。			○		ノート
	取材メモをもとに、文章を考える。	1	取材メモから知らせたいことに必要な情報を選び、整理している。			○		ノート
	リーフレットの内容の構成を考える。	1	選んだ写真や材料を、内容のまとまりごとに段落に分けて書いている。			○		リーフレットの下書き
	目的や相手に合わせて知らせることを選び、文章にまとめ、リーフレットを書く。	3	知らせたいことを写真と文章を関連させて、リーフレットにまとめている。 指示語や接続語を文章の中で正しく使っている。				○	リーフレット

	完成したリーフレットを交流し合う。	1	リーフレットを読み合い,工夫している所を中心に感想を書いている。		○			感想カード
--	-------------------	---	----------------------------------	--	---	--	--	-------

10 本時の目標

新聞では,伝えたい目的に応じて,「アップ」と「ルーズ」の写真を使い分けていることがわかる。

11 準備物

教材文(模造紙) 電子黒板 新聞記事 写真

12 本時の評価規準

「アップ」と「ルーズ」は送り手の思いや意図など,伝えたい目的に応じて,使い分けるとよいことに気付いている。

13 学習の展開(本時 10/18)

	学習活動	主な発問と 予想される児童・生徒の反応	指導上の留意点(○)と 評価及び評価方法()
つかむ 8分	1 問題提示 ○ 前時までの学習を想起する。	○ 「アップ」と「ルーズ」にはどんな特徴がありましたか。 <u>アップ</u> —細かい部分の様子がよく分かる。しかし,広い範囲の様子は分からない。 <u>ルーズ</u> —広い範囲の様子がよく分かる。でも,細かい部分は分からない。	○ アップ ルーズであったことを押さえる。
	○ 新聞記事の文章を読み,使われている写真を考える。 ○ 学習課題を確認する。	○ この新聞記事に合うのはどんな写真だろう。予想してみよう。 ・ アップが使われていると思うな。 ・ ルーズの写真かもしれない。	○ 新聞記事の見出しと文章だけを提示し,伝えたいことは何かを確認する。 ○ 難しい語句は理解しやすいように解説を加える。
		「アップ」と「ルーズ」をどのように使い分けるとよいだろう。	

考える 7分	2 自力解決をする。	○二つの写真を見比べて、どちらの写真を載せた方が記事の内容がよく伝わるのか考えよう。	○新聞記事に関係しているアップとルーズの写真を提示する。 ○どうしてその記事がよいのか理由を明確にさせる。 ○写真から分かること、分からないことは何かを考えさせる。
深める 20分	3 友だちの考えから学ぶ 比べる 同じ出来事のアップとルーズの写真を比べる。 ○新聞やリーフレットの中からアップとルーズを見つける。	この記事の内容がよく伝わる写真はどちらだろう。 アップの写真 ・選手の表情がよく分かるから。 ・選手のがんばりが伝えたかったのでアップの方がいいと思います。 ・ルーズの写真では選手の表情が分からないから合わないと思います。 ルーズの写真 ・たくさんの人の応援でがんばれたと思うので、観客が写っているルーズの写真がいいと思います。 ○では、ルーズの写真にはどんな記事の内容が合うのか考えよう。 ・この写真を使うのならば、たくさんの人が応援してくれたからがんばれたことを記事にすればよいと思います。 ○新聞やリーフレットを見て、写真の使われ方を見てみよう。 ・試合に負けた悔しさを伝えたいから、選手の表情が分かるアップの写真を使ったと思います。 ・大勢の人が参加していることを伝えたいからルーズの写真を使っていると思います。 ・紅葉のきれいさを伝えている記事だから、山全体の様子が見えるルーズの写真にしたと思います。	○アップの写真では、人の表情や気持ちが詳しく分かることを教材文に返り、押さえる。 ○伝えたい内容によって同じ出来事でも違う写真が使われることに気付かせる。 ○この記事にはアップの写真がふさわしいことを確認する。 ○アップとルーズの写真が掲載されている実際の新聞やリーフレットを用意し、提示する。 ○教材文に書かれているように紙面の広さによってはアップとルーズを組み合わせていることを押さえる。

「府中仕事リーフレット」を作り，みんなに知らせよう。
写真と文章で説明しよう。

出会う（2時間）

学習のめあてをもとう。

「府中仕事リーフレット」を作り，みんなに知らせよう。

府中市のことをみんなに知らせてあげよう。

早くリーフレットが作りたいな。
(1/2)

リーフレットづくりの計画を立てよう。
(2/2)

リーフレットを作るためには，どんなことが分かればいいかな。

説明の仕方や写真のとり方を知りたいな。

追究・表現する（8時間）

「アップとルーズで伝える」を読んで，説明の仕方について考えよう。

段落相互の関係を考えながら読む。

筆者の説明の工夫を調べよう。

テレビと新聞のアップとルーズについて書いてあるね。

「アップ」と「ルーズ」には，こんな意味があったよ。

対比しながら説明すると分かりやすいね。
(4/8)

筆者は分かりやすくするためにいろいろな工夫をしているんだね。
(7/8)

アップとルーズは，テレビや新聞でこんな風に使われているんだね。

写真と文章を対応させているね。
(アップとルーズの特徴に)

段落の中で大切だと思う文を見つけ，短くまとめたよ。
(6/8)

伝えたいことと合わせてアップとルーズを選んでいく

生かす（8時間）

写真と文章をうまく組み合わせて，リーフレットを作ろう。
伝えたいことに合う写真を選び，それを説明する文章を書こう。

インタビューをする相手の取材メモができたよ。

教科書の例には，こんな工夫がされていたんだね。

取材メモから写真にあった文章の書き方が分かったよ。
(3/8)

リーフレットの内容構成を考えたいよ。
(4/8)

取材した内容から書く内容を選び，写真と文章，挿絵を対応させて，「府中しごとリーフレット」を完成させたよ。
(5/8, 6/8, 7/8)

完成したリーフレットを掲示し，感想を交流しよう。
(8/8)